

あつがわ新聞



2017.8.24(木)
発刊。Vol.53

ななめに暮らす夏休み4。文：柴田 大輔

こんにちは！みなさん最近はいかがお過ごしでしょうか？暑い夏も終わりに近づいてきました。春夏より秋冬の方が好きな私は秋が来るのを待ちきれません。9月は村民大運動会があったり10月には満嶋神社の秋祭りがあったりと自分にとっては初めてづくりの秋になりそうです。

さて、題名にある通り8月12日（土）～16日（水）まで【ななめに暮らす夏休み4】を開催しました。和知野川に行ったりおきよめの郷でバーベキュー・坂部のかけ踊り・ふるさと夏まつりなど自分にとって初めてづくりのななめであり夏でした。また友達が2人関西から来てくれました。友達がいろんなところで写真を撮っているのを見て「地元にはやっぱりない景色なんやなー」と思っていました。写真を撮らなかった自分はそれが少しづつ当たり前の景色になっているんでしょうかね？いつもは関西でしか会うことが無いので天龍村で友達と何気ない会話をしているだけでなんだか不思議な気持ちになりました。村にいるはずなのになぜか関西に帰ってきた気分になって。友達が帰るときは大人になって寂しいものですね。自分もまだ弱いなと実感しました。村内で楽しいモノ・場所を見つけて友達だけじゃなく友達以外ももっと案内できたらいいなと思いました。



↑1日目：和智野川にて



↑中井侍駅のホームにて

今年もCM大賞応募します!!

(福本明花)

「天龍村は長野県を下から支えています。」
と、天龍村の人達に歓迎された若い旅行者は心が温まり、自然と笑顔がこぼれました。(完)



撮影の仮撮り写真

今年もこの季節がやってきました。6月に最初の会議を行って考えて、今年はどうしようか？そんなところから検討を行ってきました。
「天龍村」のメディアで取り上げられることが多い！でも、長野県のどちらの人が場所を知っているのかな？そんな疑問がきっかけで、「一番下から支えているよ！」というのを伝えられるCMになつたらしいなと思いました。

いつもたくさんの方にご協力いただきまして本当にありがとうございます。現在、ありが隊・商工観光・移住定住のメンバーでCMの大枠を考えて作成しています。今年のCM大賞は試しに撮影した結果多くの人数を集めました。毎回来てくださっている方本当にありがとうございました。それでも、今回も皆様のお力を借りしなければCMをつくることは撮らないことになりました。それでも、今回も皆様のお力を借りなければCMをつくることはできません。ご協力いただいている方、お声がけさせていただきます。お楽しみにお待ちください！



ぎーによるこのごろ

文：小柳大祐

国際基督教大学(以下ICU略)によるサー・ビスラーニングプログラムが天龍村で7月20日(木)～25日(火)まで開催され、15名の学生と4名の教師の方々が滞在活動されました。

一昨年に同じくICUの弘田百合子さんがこのプログラムで1ヶ月間滞在したのをきっかけに、今回も天龍村での活動に至りました。ICUからは4名の学生が来村し、他にアメリカのミドルベリー大学から4名、韓国のソウル女子大学、フィリピンのシリマン大学、タイのアサンプション大学からそれぞれ2名ずつ来村し、非常に国際色豊かなメンバーでした。

今回はミドルベリー大学から文化人類学者のリンダ先生がオーラルヒストリーというインタビューの手法を用いて、個々の人生や価値観、生活などから天龍村を知る、という活動を行いました。

学生たちはインタビューを通して日本のことや地方ならではの事情、文化を学びました。また、戦争の歴史を後世に伝えていく必要があると感じていたようです。

天龍村にはたくさんの自然と特産品がある事を事前に把握してきた学生たちは、農林業

公社の宮澤直祐さんと兼宗真さん、ていざな組合の野竹正孝さん、向方の村松武彦さんに協力いただき、お茶畠と紅茶工場、ていざな組合、信州サーモン養殖場の見学と収穫、そば打ち体験をしました。初めてのお茶摘み体験は新鮮で、またそこから一望できる平岡の風景に感動していました。畑ではいざなを頂き、摘んだ茶葉は兼宗さんに紅茶にして頂きました。そば打ち体験も皆初めての経験で、そば自体初めての学生もいました。日本の伝統的な食文化に触れる事ができました。

村民との交流もたくさん行いました。マレットゴルフは簡単そうで難しく、学生たちは村民に教えてもらしながら楽しそうにプレーしていました。また、郷土食として味聞の皆様と五平餅作

り体験をしました。学生たちは面白そうに、また不思議そうに作り、食べていました。そして、今回も一泊二日のホームステイを行いました。外国人が多いこともあり、各ホストファミリーの皆様には不安を感じさせることもありましたが、暖かく受け入れてくださいり、学生たちは非常に満足していました。日本のおもてなしの文化や食文化、生活様式や作法など全てが新鮮で、日本人の学生も改めて日本文化に触れることができ、最高の経験になったと言っています。

8月1日(火)には東京三鷹のICUで最終報告会があり、福本と柴田と参加しました。その中で天龍村での経験をまとめている生徒が多く、覚えた方言の「あんじゅねえ」と「いざなす」というキーワードをたくさん見かけました。生徒たちにとって天龍村という存在が人生の糧となる経験を過ごせた場所になれたことが非常に嬉しく感じます。

今回ご協力いただいた村民の皆様、そして6日間お世話になったおきよめの郷の吉田勇次さん、本当にありがとうございました。



(文：むらさわ はばな)

扇風機たくさん集まりました！
ありがとうございました！！



ハバナのナナナ♪

満月屋のお盆ウィークはこんな感じでした！

満月屋のお盆は一人でふらり一人旅の方、ちびっこワイワイ家族連れで遊びに来てくれました！！最近ホームページや雑誌をみて泊まりに来てくださるお客様がいて、一般のお客様が増えてきたおかげで一丁前とまではいきませんが、宿をやっているなど実感できるようになってきました(笑)

特に最近は子ども連れのお客さんが増えてきてとっても嬉しいんです！！

小さい子と一緒にご飯を食べたり、遊んだり、時にはぐずって泣いたり、徐々に私たちにも慣れてきて、、、なんていうそんな光景が満月屋の中で繰り広げられているのが「いいな～」、「素敵だな～」と思っているので心ゆくまで遊んだり、泣いたり、子どもも家族も安心してくつろげる空間を目指していきたいです



現在一階改修中の満月屋未来予想図は？？と アイディア募集

新聞でも度々書かせていただいていますが、現在満月屋一階を改修中です。改修してどうするの？？と思っている方もおられるかと思いますが、一階部分を「ご飯が食べられる場所」にしたいと考えています！満月屋に泊まってくれたお客様のご飯の場所でもあります、地域の人と触れ合える場所にしたいんです！！ゆくゆくは日中ふらっと遊びに来れるカフェなんかにもできたら、、、と思っているので食品衛生責任者と防火管理者の資格を7月に取得してきました！！

「まだ出来んのか？」、「ここはどうするんだ？」と通るたびに気にかけてくれる皆さん、満月屋の一階が完成して遊びに来るなら何があったらうれしいですか？例えば生ビールが飲めるようにとか、コーヒー、お菓子、ごはんものなど、何かアイディアがあれば教えてください！

今月の随筆

(ずいひつとは、心に浮かんだ事、見聞きしたことなどを筆にまかせて書いた文章のことです。)

(文：上野 真純)

残暑お見舞い申し上げます。

まだ、片側だけですが、やっと県道1号線が復旧しましたね。復旧したその日に台風がきて大雨になり、もしかして…と懸念しましたが、何事もなくてよかったです。

・「地方で仕事を創る塾」と「月3万円ビジネス」

7月29日(土)から30日(日)に、栃木県那須町で行われた「地方で仕事を創る塾」に参加しました。

塾の理念は、「共に生きる社会、共生社会を目指し、自立して楽しく生きていこう」です。その1例として、自給自足を推進しているアジア学院で実際行われている様子を見に行きました。

その後、メインテーマである「月3万円ビジネス」を勉強しました。月に3万円稼ぐことができる仕事を作ろうというものなのですが、月3万円の収入だけでは、生活できません。しかし、月に3万円を得る仕事が5つあつたら15万円になります。15万円あれば、天龍村で十分な生活を送ることができます。もっと必要だと考える人は、数を増やすべき対応できます。「そんなに簡単にいくの？」と言われそうですが、そんなに簡単にいかないと思います。しかし、月に3万円だけを稼ぐ仕事なら簡単にできそうな気がします。失敗しても、「ダメだった」で済みます。成功して継続してお金を得ることができたらラッキーぐらいの気持ちで取り組むことができたら嬉しいなと思っています。

月に3万円を稼ぐことができる妙案がありましたら教えていただけたら嬉しいです。



・「信州の食と農のセミナー」

8月3日(木)には、下栗の里で行われた「信州の食と農のセミナー」に参加しました。地元の特産である「下栗いも」を使った創作料理を作りました。夏の暑い時期に合うよう、ジャガイモを細く千切りして、そうめんのようにしたり、寒天を使ったものに加えたりしていました。いろんな調理法がいるんだなあと思いました。



・「ていざなす」とふるさと夏祭り

「ていざなす」は、少しずつですが、商品として出荷できるようになってきました。8月15日(火)のふるさと夏まつりでも出店し、「お好み焼き」と「チヂミ」の中に「ていざなす」を入れて販売しました。夏まつり当日の天気はあいにくの雨でしたが、沢山の方がありが隊ブースに来て下さいました。濡れちゃう中で気にかけて購入して下さった方、焼いてる最中に“頑張れよー！”“えらいなあ”など声をかけて下さった方、本当にありがとうございました。お好み焼き&チヂミで約70枚前後の枚数を商品としてお客様に食べてもらう事が出来ました。「チヂミ」につけるソースにも、「ていざなす」を入れたのですが、細かく刻んだ「ていざなす」を軽く炒めてオイスターソースで味わえるだけで、おいしくできました。機会がありましたら、ぜひ試してみてください。

～ありが隊の日～3地区に伺ってきました♪♪ 文：柏原亜希

先月の新聞発刊の後、ありが隊の日で3地区に出張してきました！！

7/23(日) 中井侍。7/26(水) 向方。8/7(月) 長島宇連。

と、地区はバラバラですが村内のいろいろな道の草刈りをさせて頂きました。各地区の作業で感じたのはやはり、担当範囲に対しての作業人数が少ないな…と言う事。天龍村は範囲が広いし高齢化率も上がってきてている為、全体的に地区作業時の一人の負担が増えてきていて、大変なんだな…と痛感しました。



【ありが隊の日】では、ありが隊全員で1つの地区に入り、地区単位の作業に参加させてもらう事で、地区の方との交流を深めたり、大変な作業のお手伝いが出来たらいいな、と考えて動かせてもらっています。草刈り作業はひと段落ついたかと思いますが、今後は各地区共にお祭りの準備や片づけなどでも人手がいる時期になってくるかな？と思うので、そんな時に是非！私たちにお声かけ下さると嬉しいです！地区単位の作業のご依頼お待ちしております！ ありが隊の各隊員or役場にご連絡下さい。 柏原

～球根娘の山ゆりプロジェクト 村内には不思議な品種がありました！～ 文：柏原亜希

7月中旬から徐々に花開いてきた山ゆり達。今年は村内の開花場所を回って写真を撮って、天龍村の山ゆりマップが作れたらなー！！と思い、開花時期にいろんな地区へお邪魔させて頂きました♪ 1本、2本位だと村内の至る所に咲いているんだけど、群生となると途端に場所が限られてきて…。もっともっと開花数が増えてくれるといいな、と思いつつ撮影していました。そんな中で今年は少し変わった模様の山ゆり達と出会ったのでこの場で



↑ノーマル山ゆり



ご紹介したいと思います♪

写真左側の花は中井侍に生息。花弁に点々が無く、全体的にすっきりとしたお花でした。(検索してみると白星と呼ばれてる…みたいでした) 写真右側の花は向方&太田にて生息していました。花弁の中心、黄色い筋に沿ってピンク色に色づいていて、おしゃれなお花でした。
(こちらはベニスジと呼ばれているようでした)

9 September

ありが隊：隊員1ヶ月スケジュール表

2017

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	31	1 防災訓練	2
3	4	5 おどもかわ 出張(柏原)	6 →	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16 村民 運動会
17 インターニュ →	18 → 長島駅ツアー (柏原)	19 →	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30 中学校 文化祭